

報 告

新市建設計画素案について、別紙のとおり報告する。

平成15年9月29日報告

富山地域合併協議会
会 長 森 雅 志

平成15年9月25日

富山地域合併協議会
会長 森 雅 志 様

市町村建設計画策定委員会
委員長 宮 口 侗 廸

第3回市町村建設計画策定委員会の会議内容について、下記のとおり報告します。

記

開催日時 平成15年9月24日（水）午後1時30分から
開催場所 とやま自遊館 1階ホール
出席者 建設計画策定委員16名（欠席1名）

①新市建設計画について

新市建設計画（序論～新市の建設の基本方針）素案の内容に関して、前回の策定委員会での意見及び合併協議会での意見への対応について協議を行った。

また、第3回策定委員会までの意見を踏まえて新市建設計画素案の住民説明会用資料を作成することとした。

（策定委員会資料）

資料1：第2回市町村建設計画策定委員会（8/25）での意見と対応（案） 資料2：第5回合併協議会（8/28）での意見と対応（案）

②住民説明会の開催について

富山地域合併協議会主催による、新市建設計画（将来構想）素案についての住民説明会を、平成15年11月に各市町村1箇所ずつ開催することとした。

（策定委員会資料）

資料3：市町村建設計画についての住民説明会の開催について

③その他

第4回市町村建設計画策定委員会を11月に開催することとした。

第 2 回市町村建設計画策定委員会（8/25）での意見と対応（案）

頁	段落、行等	質問・意見	対 応
6	(2) 通勤・通学の状況	富山市からの流出を表で載せてはどうか。	富山市からの流出状況を図に追加します。 別添のとおり 新市の概況の詳細な数値は資料編にまとめて後日配付させていただきます。
2 8	「共生する」のタイトル	「にぎやかさ」を、「にぎわい」にしてはどうか。	「にぎやかさ」を「にぎわい」に修正します。
3 1	第 2 節 新市の将来像	7 市町村が共通のビジョンを持って時間を掛けて新都市の都市像をつくっていくことが大切であり、また、地方分権の将来像を表していることから、「環境と創造の夢舞台」という将来像を支持する。 また、今後はさらに国内はもとより海外からの観光客の誘致等が重要視されることになり、「国際化」を踏まえて新都市の将来像を大切にして育てていく必要がある。	
		「夢舞台」は、演出や虚飾を連想させ、夢で終わるようなイメージを持つ。（対案：都市と自然が共生する創造のまち）	「夢」は、かつては実現できないもののイメージもあったが、今では「かなえるための夢」として使われることが多く、本計画の将来像でも後者の意味で「夢」を考えています。
		「創造の夢舞台」は理解できるが、「環境の夢舞台」という表現が適切かどうか疑問である。	「環境と創造」の夢舞台という考えで、持続可能な環境の中での創造活動、それが夢をかなえる舞台になると考えています。
		サブタイトルの「環日本海の交流拠点」と表現について、大山町から山田村への広がりなど多様な自然環境の要素を持つまちとしての表現にできないか。	将来像のサブタイトルについては今後の検討課題とさせていただきます。
	説明文 1 行目	新市の将来像の中に中山間地域という文言を入れることを望む。	（下線部分を追加）発展しつつづけるためには、 <u>海、中山間地域など</u> からなる豊かな自然環境や.....
3 2	1 【健康・福祉の充実】 1 0 行目	健康・福祉の充実については、考え方として、負担と給付の問題について何らかの記述をして、適正なあり方を表現すべきでないか。	（下線部分を追加）保健から医療、福祉まで、 <u>適正な負担と給付に基づく総合的なサービス</u>
	1 2 行目	「安心して子供を産み育てることができる環境づくり」をもう少し強調できないか。	（下線部分を追加） <u>地域の中で支えられながら、安心して子どもを産み育てることができる</u>
3 2	2【生活環境の向上】	「コミュニティバスの導入」は具体的な表現であり、ひとつの事業に縛られてしまう感じがするので、公共交通の充実、維持発展とすべきでないか。	「コミュニティバスの導入などにより」を削除します。

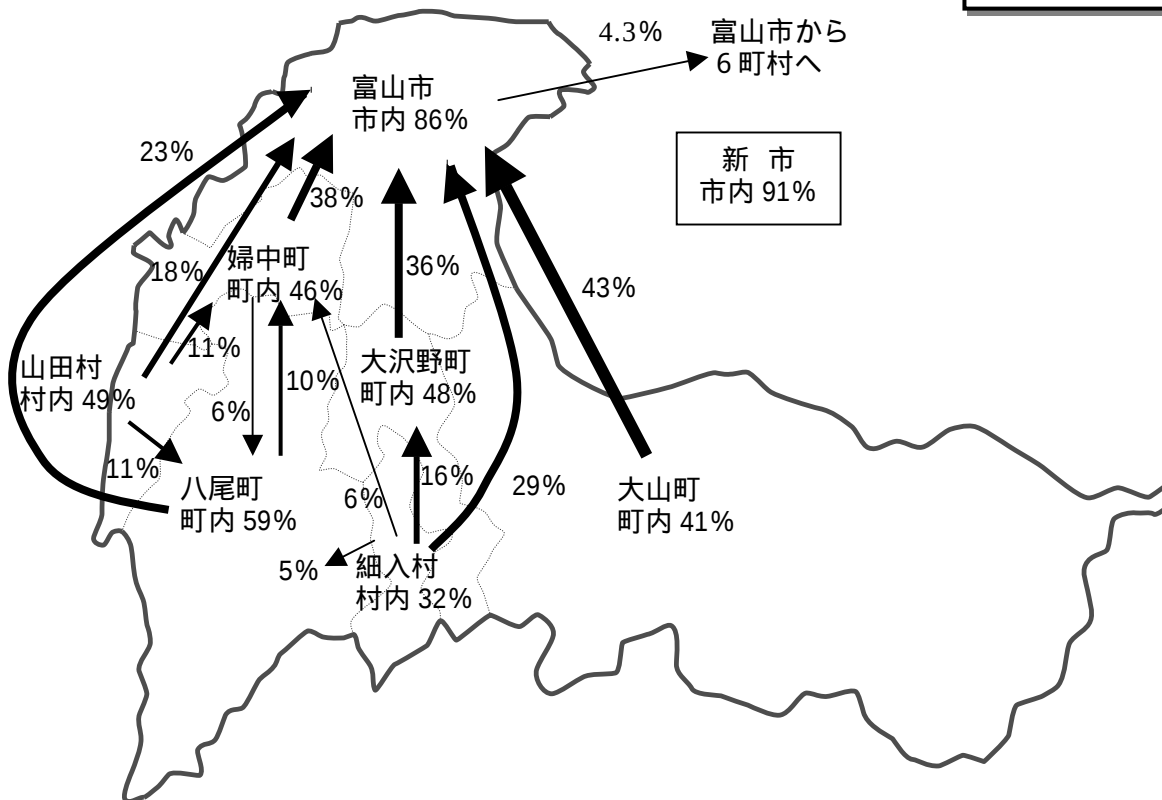
3 3	3 【自然との共生】 3 行目	「神通峡，立山山麓」という具体的な表現でなく「新市をとりまく豊かな自然環境」でよいのでないか。	「神通峡，立山山麓をはじめとする」を「新市をとりまく」に修正します。
	4 行目	現在有している、水と緑に象徴される豊かな自然を将来に渡ってしっかりと維持していくということを文章として表現すべきである。	(下線部分を修正・追加)農林水産業、スポーツや憩いの場でもあります。この水と緑に象徴される豊かな自然を大切に、将来にわたって維持していくため、環境との共生には充分配慮しながら....
3 3	4 【産業の振興】 1 9 行目	物見遊山的な観光に対するアンチテーゼとして使われている、「ツーリズム」という言葉を入れていただきたい。	・(下線部分を追加)ブランドづくりを目指すとともに、 <u>グリーンツーリズム、エコツーリズム</u> などへの取り組みを強化します。
	2 1 行目	また、海外からの観光客の誘致とそれに対する「もてなす」仕組みや雰囲気づくりに努める表現が必要でないか。	・(下線部分を追加)観光拠点の整備充実を図るとともに、 <u>観光関連事業者や住民などにより観光客を暖かくもてなす仕組みづくり、ホスピタリティの醸成を図ります。</u>
	末尾	産業の振興にコンベンションの要素を盛り込んでいただきたい。	(産業の振興の末尾に下記文章を追加) また、これらの産業振興施策に加えて、交流拠点都市として内外の交流を支えるコンベンション機能の強化を図ります。
3 6	(1)軸整備の考え方	新市の将来イメージ図に長野、高山の表記があるので、「北陸の主要都市」ではなく、「隣接する県」などの表現が適切ではないか。	「北陸の主要都市」を「 <u>周辺の主要都市</u> 」に修正します。 (説明図も修正)
3 7	田園環境共生ゾーン	「IC周辺の開発」という具体的な記述ではなく、優良農地の保全と同時に適正な土地利用を図るなどの表現がよい。	(下線部分を修正追加)生活拠点を中心に生活環境の充実を図るほか、 <u>優良農地の保全と同時に適正な土地利用の誘導を図ります。</u>
3 9	新市の将来イメージ図	大山町が自然環境だけしかなく見えないように見える。自然と都市部が一体感を持つような表現にならないか。	概念的な図案にし、大山町、婦中町、山田村付近のゾーニングを修正します。 別添イメージ図のとおり
		県の中央部丘陵地帯の位置付けとして、自然環境共生ゾーンを山田村、婦中町の一部の方へ配置できないか。	
		過去に「富山中央部丘の夢構想」として呉羽山丘陵から飛騨山脈へ続く一帯をレクリエーション空間として整備を図ってきたので表現できないか。	
		市町村境界、市町村名を入れないのならば、全体の形を地図にしないで、もっと概念的に図案化すればいいのではないか。	
		国土連携軸に「名古屋」を入れる。	「名古屋」を追加します。

(1) 通勤・通学の状況

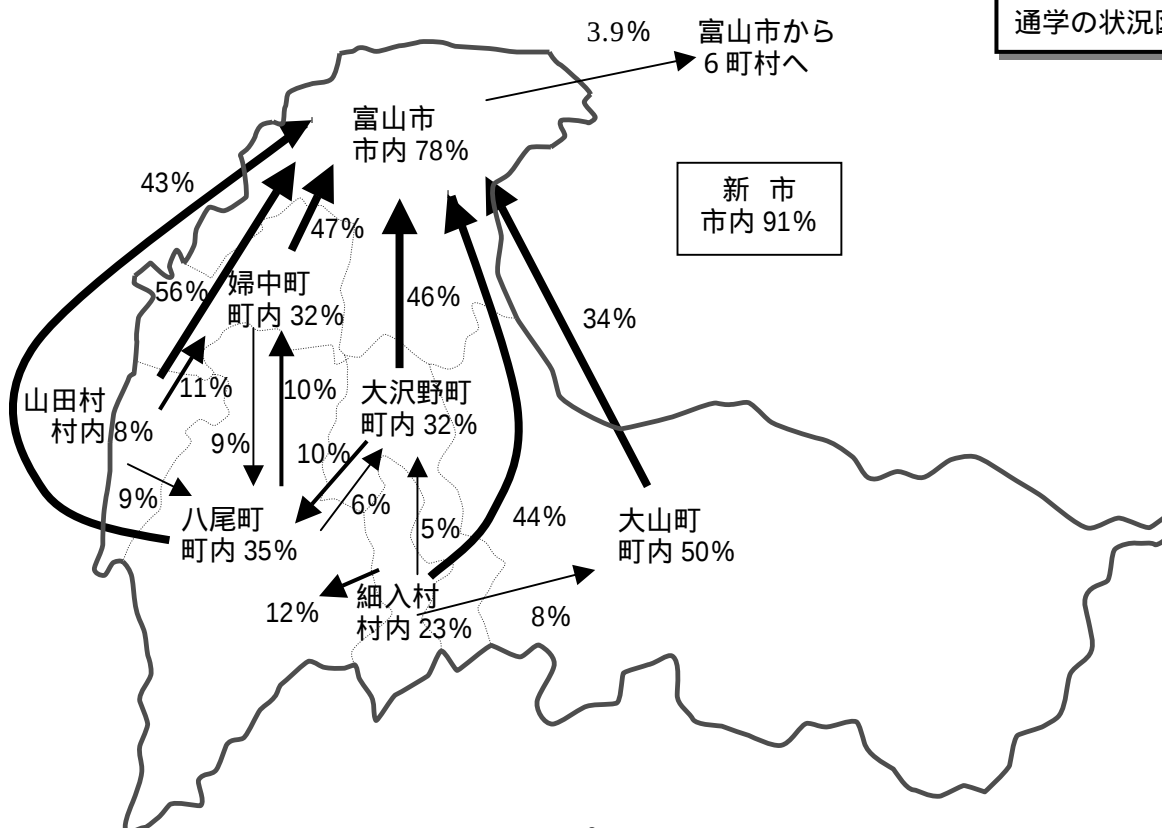
平成12年の国勢調査によると、新市内常住就業者のうち91%が新市内での通勤となっており、新市が一体の経済圏となっているといえます。

また、新市内の15歳以上の通学者においても、91%が新市内での通学となっており、通学区域が一体となっています。

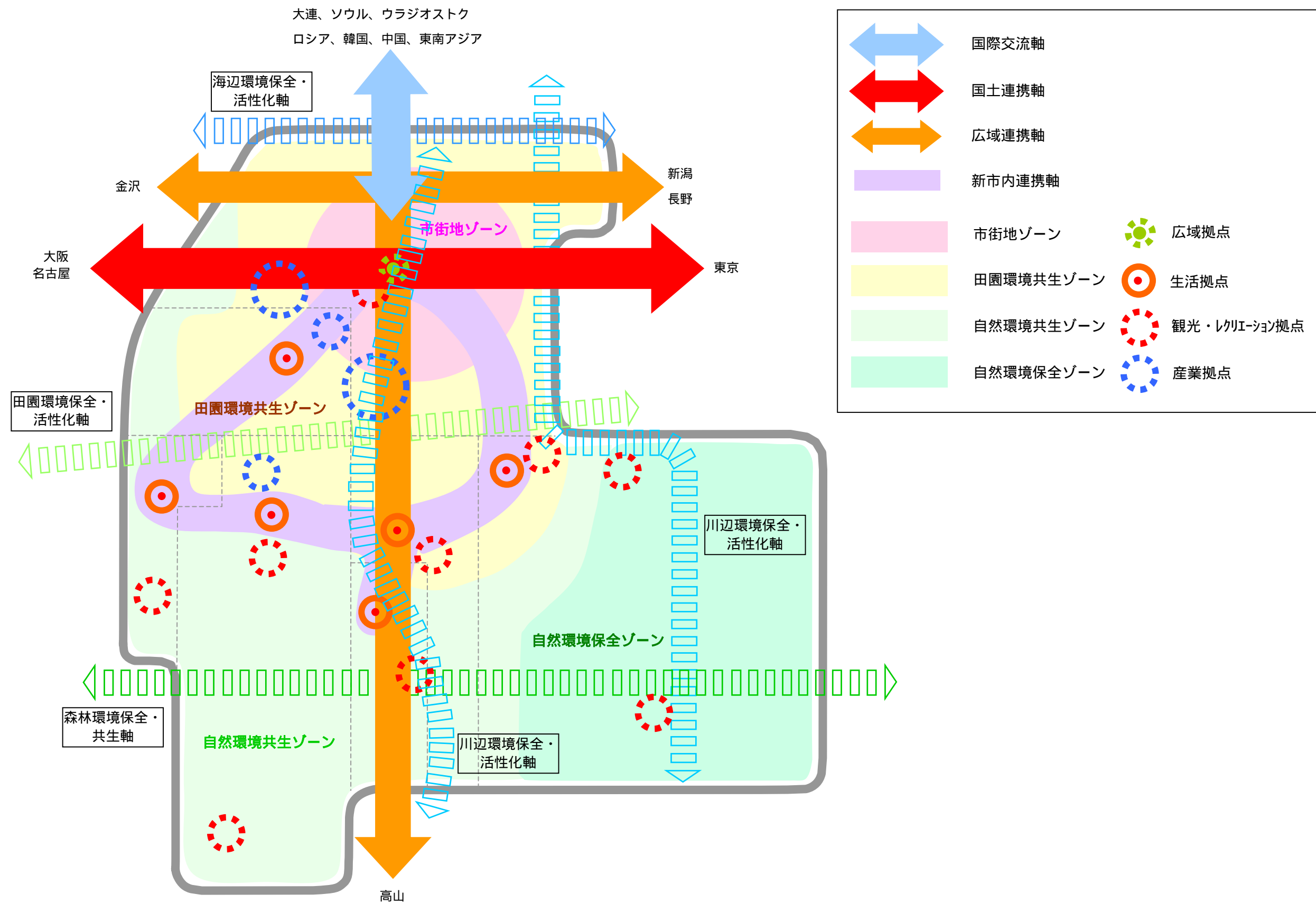
通勤の状況図



通学の状況図



< 新市の将来イメージ図 >



第 5 回合併協議会（8/28）での意見と対応（案）

頁	段落、行等	意 見 等	対 応
12	全体	第 2 章第 1 節の 5 財政状況を平成 14 年度決算に置き換えできないか。	平成 14 年度決算が確定後に修正予定です。
28 ~ 34	将来構想部分全体	・将来構想の内容で、青少年対策、福祉、森林に対するものが弱い。 ・下記の 3 点を基本方針に入れてほしい。 新しい取り組みをしてほしい。昭和の大合併のひずみとして大きな傷跡を残した。35 年有余の間、集落間の国道整備ができなかった。これが人口流出を引き起こし、山林整備もできていない。	について ・道路整備については【生活環境の向上】という基本方針の中で対応を図ります。 ・山林整備については、【自然との共生】という基本方針の中で対応を図ります。
		過疎化の問題。山林所有地の境界が分からなくなっているので、測量によりはっきりさせてほしい。7 市町村で山林は面積の 7 割を占める。	
		現在の森林管理（整備）の状態を放置すれば、将来は土石流災害の発生の危険が高まっている。	について の山林整備と同様の対応
		・上記 3 点に加えて、福祉も大事なことである。身障者、知的障害者は、親兄弟がいなくても生活していけるような世の中にしてほしい。	・福祉については【健康・福祉の充実】という基本方針の中で対応を図ります。
28 ~ 34	将来構想部分全体	・ジャブは出ているがパンチがない。富山市では 5 つの柱を立てている。人づくり、人材づくりが大切。富山は人づくりに頑張っている。小・中学校は出てきているが、高等教育に関する記述がない。市が関わる問題ではないかもしれないが、生涯教育は高等教育機関が無くてはできない。	（33 頁下 2 行の前に） 「なお、地域における教育・文化の振興にとって高等教育機関の果たす役割は大きく、また、地域文化・経済の発展にも大きく貢献します。すなわち、大学等高等教育機関との連携・交流を強化し、地域に開かれた教育システムの充実を図ります。」を追加します。
28 ~ 34	将来構想部分全体	・この将来構想は、周辺 6 町村に配慮した内容が多いと思う。しかし、これからは新潟や金沢との都市間競争である。中心市街地を再開発で活性化する必要がある。それなら合併しよう、というような強力な表現がほしい。	・37 頁、3.地域別の土地利用の方針で、「富山駅周辺を含む市街地は、.....中核市にふさわしい商業・業務・.....、高次都市機能の再編・整備や.....、..中心市街地としてのにぎわいづくりを促進します。」と記述しており、意見内容には応えていると思います。
		・里山は緑と人間が共生できるところである。南西部の呉羽丘陵を含む区域を表現してほしい。	・イメージ図を修正済みです。

32 ~ 34	新市のまちづくりの基本方針	・第2章第4節「地域の特性と課題」の序文に、「人づくりや自然環境への配慮、交流と連携」が構成市町村の共通ビジョンであると記述されているところだが、第4章第1節の「創造する、みんなで創り出すまち」づくりに「多種多様な資産を人づくり、まちづくりに活かし、地域の産業や住民生活の豊かさにつなぎ、.....そして幅広い人材育成と人材活用を、既存産業の再生と新産業を創造につなぐ」となっているが、新市まちづくりの基本方針には「未来を創造するひとづくり」の記述が不足しているように思う。 ・基本理念に「地域住民のまちづくりへの参画 連携 交流」が課題とされているが、基本方針に都市部と農村部（中山間地）の役割や連携と交流等、新市住民の連帯感や感性の涵養の記述も必要と考える。 以上の2件は、協議会委員からFAXにて提出された意見です。	・下から7行目「を目指し」の前に「個性を生かす教育、自ら学ぶ力の育成」を追加します。 ・交流については委員会の意見を受けて、基本方針【産業の振興】の文章を修正しました。 ・連携については【住民参画・連携・交流の促進】の基本方針の文章2行目に次の下線分を追加します。「...進めるためには、<u>都市部と中山間地域の住民が各々の役割を認識しつつ、連携・交流するとともに、新市の</u>....」. また、同文章5行目に下線部を追加します。「.....<u>交流機会の創出により新市住民の連帯感や感性の涵養を図るとともに</u>.....」
38	23行目	・八尾の「おわら風の盆」や「曳き山祭り」は、観光レクリエーション拠点で明示するものではなく、伝統文化拠点を追加し、土地利用の観点から、地域固有の文化財を保存・継承し、その夢舞台である街並景観保全を含めた土地利用の方向性を示すべきではないか。	・ここで示した拠点は、これから新市を牽引していくための力強い拠点として4種類の拠点を示しています。新市の環境整備の基礎となる生活拠点と、外との繋がりで大きな力を発揮する広域拠点、観光レクリエーション拠点、産業拠点です。 ・「伝統文化拠点」としての表現も考えられますが、八尾の持つ伝統文化を観光として対外的に売り出し、これによって新市に活力を与える、というねらいから「観光レクリエーション拠点」とする方が活性化を目指す方向からはより適切と考えました。

			・外からの来客は、伝統文化で来る、というよりも観光によって集まります（観光として打ち出す方が力強い）。例えば、京都、金沢、川越なども中身は歴史、伝統、文化だが、そのような表現でなく観光拠点となっています。
39	新市の将来イメージ図	（将来構想図について） ・新市内連携軸は、生活拠点連携を連携させているが、観光レクリエーション拠点にも道路網が存在するものであり、これも連携させるべきではないか。	・新市内連携軸は、地域内の連携を、生活拠点を結ぶことによって表現しています。 ・観光レクリエーション拠点は新市内では各生活拠点と連携し、市外に対しては各軸によって交流・連携しています。
		・合併後の隣接市町村との連携も必要であり、近隣連携軸も網羅すべきではないか。	・近隣市町村との連携は従来どおり必要です。ここで表現しているのはそれよりももっと強い力で地域内を一体化させる軸、外との連携は近隣とも当然必要ですが、より強い力で広域的な連携が必要なことを表わしています。 ・近隣との強い連携軸を入れると、そちらとも合併したほうが良いとの解釈につながる可能性があり、広域的連携を表現するにはふさわしくないと考えています。

市町村建設計画についての住民説明会の
開催について

- 1 . 開催時期 平成 1 5 年 1 1 月
 日時の詳細は構成市町村と別途協議
- 2 . 開催場所 各市町村 1 箇所
 開催場所の詳細は構成市町村と別途協議
- 3 . 主 催 富山地域合併協議会
- 4 . 説明内容 新市建設計画（将来構想）素案
- 5 . 周知方法 各市町村広報誌、協議会 H P、各市町村 H P 等